

環境活動レポート



(休耕田に栽培した菜の花畑から吉備国際大学を望む)

吉備国際大学

2013年5月

(対象期間:2012年4月~2013年3月)



吉備国際大学
KIBI International University

【目次】

1. 吉備国際大学の概要	1
1-1. 建学の理念	1
1-2. 沿革	1
1-3. 組織	2
1-4. 事業の概要	3
2. 環境方針	4
3. 吉備国際大学環境マネジメントシステム	5
3-1. 吉備国際大学EA21取り組み対象範囲	5
3-2. EA21取り組み組織	5
3-2. EA21取り組み組織の役割	6-7
4. 環境目標と実績	8-9
4-1. 2012年度環境目標と目標達成状況	8
4-2. 環境負荷の経年変化	9
5. 環境目標の達成手段と取り組み状況評価	10-11
6. 環境代表者による最終評価	12
7. 取り組みの様子	13-17
7-1. 学内への周知	13
7-2. ごみ箱の整理と分別ごみ箱の設置	14
7-3. EA21学生委員会の取り組み	14-16
7-4. 女子サッカー部による地域清掃	16
7-5. 廃棄物削減への取組み	17
7-6. そのほかの活動	17
8. 環境関連法規への違反, 訴訟等の有無	17-18
9. 環境関連教育の状況	19-20
10. 内部環境監査の実施	21
11. 更新審査の受け入れ	21

1. 吉備国際大学の概要

1-1. 建学の理念

学校法人 高梁学園

建学の理念

学生一人ひとりのもつ能力を最大限に
引き出し引き伸ばし、社会に有為な
人材を養成する。

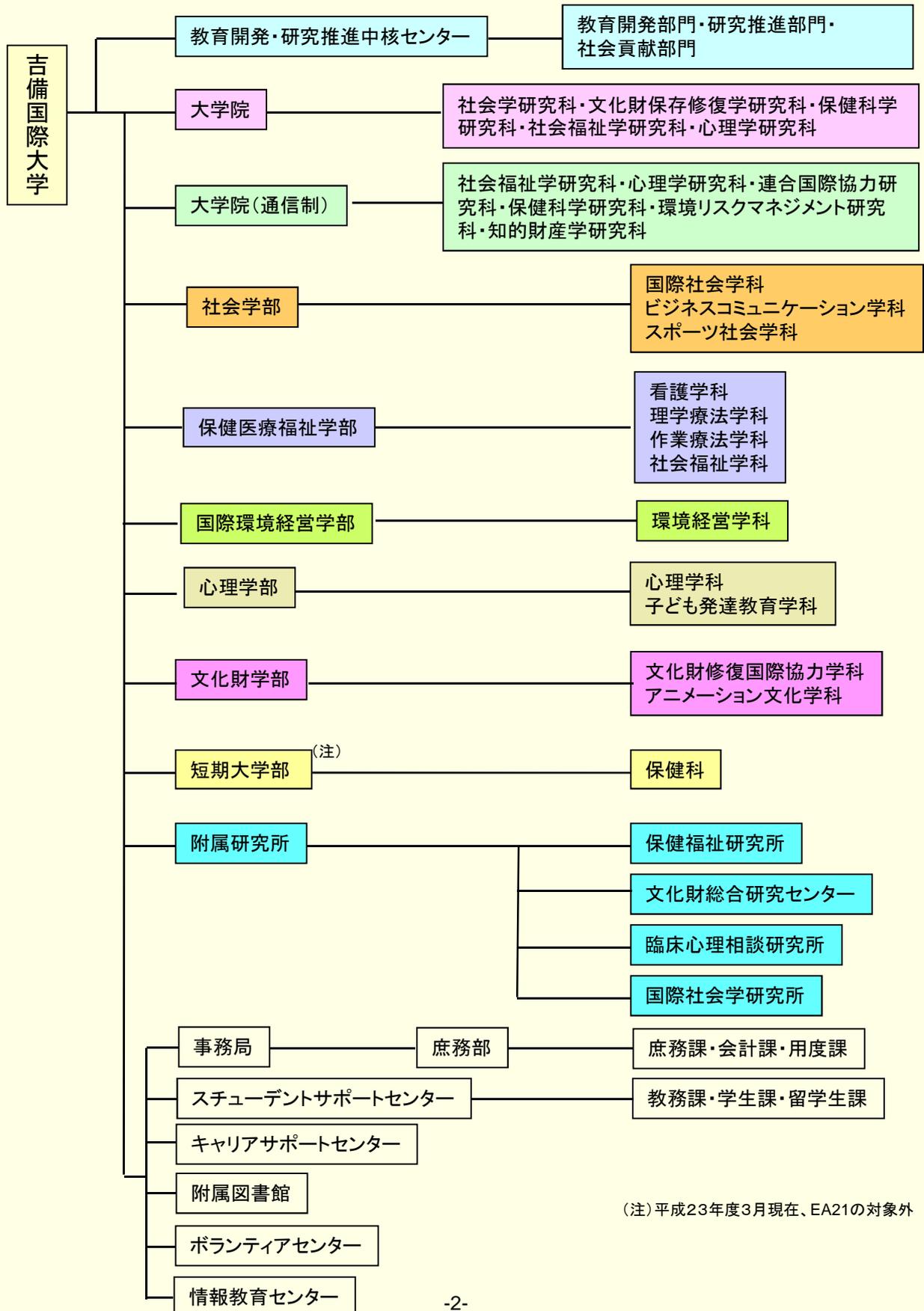
Mission Statement

Our aim is to maximize students' individual potential and develop good citizens in both local and international communities.

1-2. 沿革

- 昭和42年(1967) 文部大臣より学校法人高梁学園の設置を認可される
平成元年(1989) 文部大臣より吉備国際大学の設置を認可される
平成2年(1990) 吉備国際大学社会学部を開設
平成7年(1995) 保健科学部, 社会福祉学部を増設
平成7年(1995) 大学院 社会学研究科 社会学専攻 修士課程を開設
平成9年(1997) 大学院 社会学研究科 社会学専攻 博士(後期)課程を開設
平成11年(1999) 大学院 社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 修士課程を開設
平成12年(2000) 大学院 保健科学研究科 保健科学専攻 修士課程を開設
平成13年(2001) 大学院 社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 博士(後期)課程を開設
平成14年(2002) 大学院(通信制)社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 修士課程を開設
平成16年(2004) 大学院 臨床心理学研究科 臨床心理学専攻 修士課程を開設
政策マネジメント学部を増設
平成17年(2005) 大学院 文化財保存修復学研究科 文化財保存修復学専攻 修士課程を開設
大学院 保健科学研究科 保健科学専攻 博士(後期)課程を開設
平成18年(2006) 大学院 臨床心理学研究科 臨床心理学専攻 博士(後期)課程を開設
大学院(通信制) 臨床心理学研究科 臨床心理学専攻 博士(後期)課程を開設
大学院(通信制) 国際協力研究科 国際協力専攻 修士課程を開設
平成20年(2008) (通信制)保健科学研究科 理学療法学専攻 修士課程(通信制)
環境リスクマネジメント研究科 環境リスクマネジメント専攻 修士課程・(通信制)
知的財産学研究科 知的財産学専攻 修士課程を開設
国際環境経営学部 環境経営学科として開設
平成22年(2010) 「高梁学園吉備国際大学」から「順正学園吉備国際大学」へと改称
短期大学部を開設

1-3. 組織



(注) 平成23年度3月現在、EA21の対象外

1-4. 事業の概要

事業所名:吉備国際大学

代表者:松本 皓

事業内容:教育研究機関

総括環境管理責任者:濱島 敦博 (国際環境経営学部 環境経営学科 講師)
及び担当者

TEL:0866-22-9205

E-mail:hamashi@kiui.ac.jp

所在地:〒716-8508 岡山県高梁市伊賀町8

事業の規模

	単位	2010年度	2011年度	2012年度
教員数	人	153	154	148
非常勤講師数	人	264	143	152
職員数	人	66	62	55
学部生数	人	2,233	2,012	1938
大学院生数	人	88	89	171
総人数	人	2,804	2,460	2464
敷地面積	m ²	97,988	97,988	97,988
延べ床面積	m ²	33,857	33,857	33,857

2. 環境方針

吉備国際大学環境方針

基本理念

吉備国際大学は、「日本人としてのメンタリティと国際人としてのセンスを兼ね備え、豊かな人間性と専門性を有する、社会に有為な個性ある人材を養成する」ことを教育目標として掲げています。この教育理念を踏まえ、教育・研究、地域貢献、国際交流などの活動において、環境との調和と共生を図るとともに、地球環境に配慮して行動することができる人材の育成を通して、持続可能な社会の構築に貢献します。

基本方針

1. 教育・研究活動及びそれに付随する活動において、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、リサイクルの推進、化学物質の削減、グリーン購入の推進に努めます。
2. 環境マネジメントシステムを確立し、教職員及び学生の環境意識を啓発するとともに、環境マネジメントシステムを定期的に見直し、その継続的な改善を図ります。
3. 大学の教育活動を通じ、学生の環境意識の醸成に努め、地球環境に配慮して行動できる人材の育成に努めます。
4. 学内の教育・研究活動においては、環境関連の法令、条例及び協定を遵守します。
5. この環境方針を達成するため、目標を設定し、学内の教職員、学生及び常駐する委託会社の職員が一致協力してその達成を図ります。
6. この環境方針は、学内の教職員、学生及び常駐する委託会社の職員に周知するとともに、広く一般にも公開します。

2012年 4月 / 日

吉備国際大学学長

松本 皓

3. 吉備国際大学環境マネジメントシステム

3-1. 吉備国際大学EA21取り組み対象範囲

1) 所在地

〒716-8508

岡山県高梁市伊賀町8

2) 対象サイト

吉備国際大学(吉備国際大学1号館～15号館, 吉備国際大学附属施設)

3) 活動と対象者

(1) 活動

①教育 ②研究 ③オフィス活動 ④学生の活動

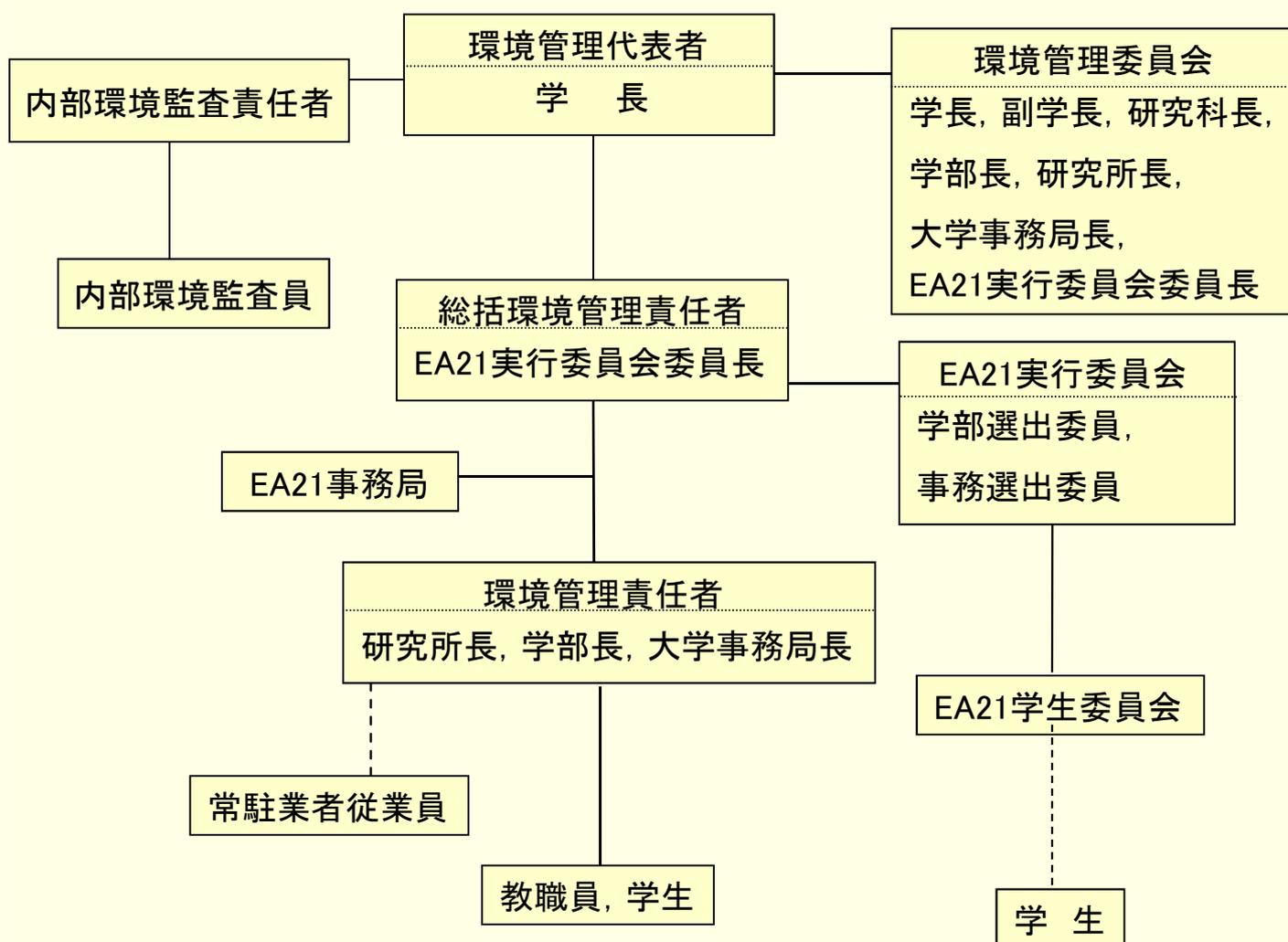
(2) 対象者

①教員 ②事務職員

(3) 準構成員

①学生 ②常駐業者従業員

3-2. EA21取り組み組織



3-3. EA21取り組み組織の役割

環境管理代表者	(1)代表者としてEA21活動全般を行う。
	(2)環境方針を策定し，教職員及び学生に周知する。
	(3)EA21全体の取り組み状況に関し，評価，見直しを実施する。
	(4)総括環境管理責任者の委嘱。
	(5)その他EA21活動の統括に関連する事項。
総括環境管理責任者	(1) 環境管理代表者の命を受け，吉備国際大学のEA21活動を推進する。
	(2) EA21システムの構築，実施，管理。
	(3) 環境活動の取組結果の環境管理代表者への報告。
	(4) EA21文書類の承認。
	(5) 環境管理責任者への指導，助言。
	(6) その他EA21活動の推進に関する事項。
環境管理責任者	(1)EA21システムの実施。
	(2)大学の環境方針，環境目標，環境活動計画の部局教職員への周知。
	(3)部局の環境方針の策定と，部局環境方針を達成するための取り組みの実施。
	(4)部局におけるEA21取り組み状況の評価，見直し。
	(5)教職員及び学生に対する教育訓練の実施。
	(6)その他，EA21活動の実施に関する事項。
環境管理委員会	(1) 本学の環境への取り組み全般に関する事項
	(2) 環境管理代表者への提言
	(3) 環境目標，環境活動計画の承認
	(4) その他，本学の環境活動に関する事項。
EA21実行委員会	(1) EA21システムの構築と実行に関する事項。
	(2) 環境目標，環境活動計画書の作成。
	(3) 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。
	(4) EA21システムの問題点の審議と解決策の立案。
	(5) その他EA21活動に関する事項。

〔EA21取り組み組織の役割〕続き)

吉備国際大学EA21事務局	(1) EA21システムの実行に関すること。
	(2)環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。
	(3)環境活動の実績集計。
	(4)環境関連法規等取りまとめ表の作成。
	(5)環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
	(6)環境活動レポートの作成。
	(7)その他EA21活動の実務に関する事項。
吉備国際大学EA21学生委員会	(1)学生の視点から、吉備国際大学の環境保全活動を立案、実行する。
	(2)学生に対する指導、教育及び意識改革。
	(3)EA21実行委員会への提言
	(4)その他、学生の自主的環境活動に関する事項。
教職員の役割	(1)環境方針を理解し、環境への取り組みの重要性の自覚。
	(2)環境活動計画に従った環境配慮行動の実行。
	(3)自主的・積極的な環境活動への参加。
	(4)その他、環境負荷低減に関する諸活動への参加。
学生の役割	(1)本学の環境方針を理解し、本学の環境への取り組みに協力すること。
	(2)本学の環境活動計画に従った環境配慮行動の実行。
	(3)環境管理責任者の指示に従った、環境負荷低減活動の実施。
	(4)自主的・積極的な環境保全活動への参加。
	(5)その他、環境負荷低減に関する諸活動への参加。
内部環境監査責任者の役割	(1)環境管理代表者の指示に従い、内部環境監査を実施する。
	(2)内部環境監査員を選任し、内部環境監査チームを編成する。
	(3)内部環境監査の結果を基に、EA21実行委員会に助言を行う。
内部環境監査員の役割	(1)内部環境監査責任者の指示に従い、内部環境監査に参加する。
	(2)内部環境監査の監査結果を取り纏め、内部環境監査責任者に報告する。
	(3)内部環境監査について、適宜、内部環境監査に助言を行う。

4. 環境目標と実績

4-1. 2011年度環境目標と目標達成状況

吉備国際大学では、電力消費の削減、化石燃料消費の削減、二酸化炭素排出量の削減、廃棄物発生量の把握、水使用量の削減、印刷用紙使用量の削減、化学物質の適正管理、グリーン購入の推進、環境教育の推進、大学周辺の環境美化の推進の10項目について環境目標を定めて活動をしています。下記に、2011年度の目標及び2011年度の実績、実績評価をまとめました。2011年度は、概ね目標を達成することができました。

環境目標	基準年度 実績	2012年度目標「目標値」	2012年度実績値	2012年度目標評価
		中長期目標(2014年度まで)「目標値」		
電力消費の削減	2007年度 2,952,737kwh	2,864,155 kwh 基準年比-3% ----- 2,805,100 kwh 基準年比-5%	2,793,465 kwh 目標値比-5.4%	○
化石燃料消費の削減	2007年度 6,769,687MJ	6,566,596 MJ 基準年比-3% ----- 6,431,203 MJ 基準年比-3%	5,194,745 MJ 目標値比-23.3%	○
二酸化炭素排出量の削減	2007年度 2,098,312 kg- CO ₂	2,035,362 kg-CO ₂ 基準年比-3% ----- 1,993,396 kg-CO ₂ 基準年比-3%	1,902,542 kg-CO ₂ 目標値比-9.3%	○
廃棄物発生量の削減	2009年度 54,879kg	54,330 kg 基準年比-2% ----- 53,233 kg 基準年比-2%	47,899 kg 目標値比 -12.7%	○
水使用量の削減	2007年度 16,842 m ³	16,337 m ³ 基準年比-3% ----- 16,000 m ³ 基準年比-3%	15,763 m ³ 目標値比-6.4%	○
印刷用紙使用量の削減	2007年度 3,515,000 枚	3,409,550 枚 基準年比-3% ----- 3,229,250 枚 基準年比-3%	2,267,500枚 目標値比-35.5%	○
化学物質の適正管理	—	対象物質の保有量把握と管理強化	関係部署が定期的に 使用量・保有量を把握	○
グリーン購入の推進	—	特定品目のグリーン購入比率 70%以上	グリーン購入比率 80.1%	○
環境教育の推進	—	全学共通環境教育科目の開講 (2科目)	2科目を開催	○
大学周辺の環境美化	—	月1回以上の環境美化活動	学生サークルによる 清掃活動を実施	○

注) 「二酸化炭素排出量」における、電力消費による排出係数については、その値を「0.555」とした。

4-2. 環境負荷の経年変化

1) 電力使用量の経年変化

「電力使用量」は、基準年度(2007年度)からほぼ横ばいの状態が続いた後、2011年度以降は大幅な減少がみられた。一方、「一人当たり」の使用量は増加傾向、「床面積当たり」の使用量は減少傾向にある。



2) 化石燃料の経年変化

「化石燃料使用量」は、2010年度において、大幅に増加したが、2011年度は改善が見られ、2012年度も継続している。「一人当たり」・「床面積当たり」の使用量も同様の傾向にある。



3) 二酸化炭素排出量の経年変化

「二酸化炭素排出量」は、2009年から2010年度にかけて増加したが、その後減少している。「一人当たり」の使用量は増加傾向、「床面積当たり」の使用量は減少傾向にある。



4) 廃棄物発生量の経年変化

「廃棄物発生量」については、2009年度より計測を始めた。2012年度は、基準年度(2009年度)より、総量、「一人当たり」、「床面積当たり」のいずれにおいても減少している。



5) 水使用量の経年変化

「水道使用量」は、2010年度に急増し、基準年度(2007年度)を上回ったが、2011年度以降は下回っている。「一人当たり」については、基準年度を上回っているが、「床面積当たり」の使用量は下回っている。



6) 印刷紙使用量の経年変化

「印刷紙使用量」は、基準年度(2009年度)より、総使用量、「一人当たり」・「床面積当たり」使用量ともに順調に減少している。



5. 環境目標の達成手段と取り組み状況評価

吉備国際大学では、10項目の環境目標について、それぞれ具体的な目標達成手段を決め、目標達成に向けて取り組みを行っています。さらに、それぞれの目標達成手段には、具体的な活動内容を定めて活動を行っています。下記に、2012年度の目標達成手段と取り組み状況評価を掲載します。

環境目標	目標達成手段	活動の取り組み状況
1) 電力消費の削減	①不在時の電気使用の防止	○
	②無駄な電気使用の防止	○
	③省エネ機器の導入	△
	④節電の呼びかけ	○
	⑤クールビズ, ウォームビズの推進	○
2) 化石燃料消費の削減	①無駄な化石燃料使用の防止	△
	②通勤, 通学時の公共交通機関の利用の促進	○
3) 二酸化炭素排出量の削減	①省エネルギー活動の推進	○
4) 廃棄物管理及びごみの減量	①廃棄物管理システムの構築	○
	②リサイクルの推進	△
	③外部からの持ち込み量削減	○
	④弁当ごみの削減	△
	⑤自販機販売品の管理	△
5) 水使用量の削減	①無駄な水使用の防止	○
	②節水の呼びかけ	○
6) 印刷用紙使用量の削減	①無駄な用紙使用の防止	○
	②伝達手段のペーパーレス化	△
7) 化学物質の適正管理	①物質の保有量・使用量の把握	○
	②管理強化	○
8) 環境教育の推進	①環境授業の開講	○
	②EA21研修の実施	○
9) グリーン購入の推進	①備品購入時における該当製品の購入	○
10) 大学周辺の環境美化	①環境美化	△
	②吸い殻対策	○

取り組み状況の評価基準

◎: 達成している項目 ○: 概ね達成できた項目 △: 一部達成できた項目 ×: 達成できなかった項目

6. 環境代表者による最終評価

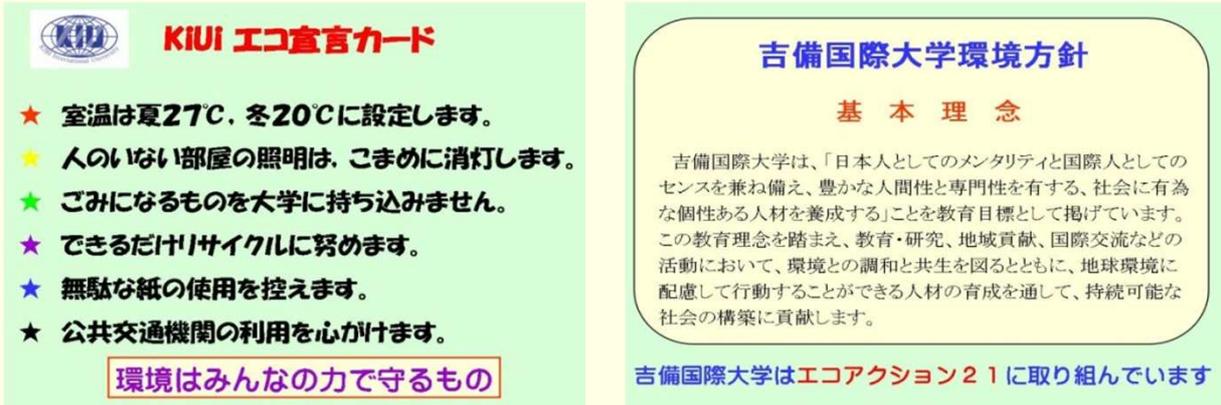
【様式12-2012】 (代表者による全体の評価と見直し記録) (2012年4月～2013年3月)			代表者	総務環境管理責任者																																			
代表者による全体の評価と見直し (適切性、妥当性、有効性の評価)		(定期見直し：毎年事業年度終了後) 実施日：2013年5月9日	松本皓	濱島敦博																																			
見直しに必要な情報			変更の必要性の有無・指示事項																																				
(管理責任者の報告)		(管理責任者のコメント・提案)	(代表者)																																				
<p>[取り組み状況の評価結果] 本年度に策定した環境活動計画に基づく取り組みは、ほぼ全てを実施できたと思料される。昨年度の環境目標において唯一達成できなかった「廃棄物の削減」については、冬季に学内にて収集した落ち葉・枯葉類を大学周辺の圃場に散布するという新たな取り組みの効果もあり、十分に削減された。</p> <p>[問題点の是正処置及び予防処置の状況] 特に無し</p>		<p>[環境方針] ・環境方針は掲示等により学内に浸透しつつあり、変更の必要なしと判断する。</p>	<p>[環境方針] ・変更の必要はない。</p>																																				
			変更の必要性： 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>																																				
		<p>[目標・環境活動計画] 環境目標は達成し、ほぼ順調にシステムが運用されている。</p>	<p>[目標・活動計画] 特に無し</p>																																				
<p>[目標・環境活動計画の達成状況] (詳細は環境活動計画書による)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">目標項目</th> <th>目標値</th> <th>環境活動の</th> </tr> <tr> <th>達成状況</th> <th>取り組み状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>電力使用量の削減</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>二酸化炭素排出量の削減</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>化石燃料の削減</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>廃棄物の削減</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>水使用量の削減</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>印刷用紙使用量の削減</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>化学物質の適正管理</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>グリーン購入の推進</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>環境教育の推進</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>大学周辺の環境美化</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> </tbody> </table> <p>○達成できた(取り組んだ) △一部達成できた(一部取り組んだ) ×達成できていない(取り組んでいない)</p>		目標項目	目標値	環境活動の	達成状況	取り組み状況	電力使用量の削減	○	○	二酸化炭素排出量の削減	○	○	化石燃料の削減	○	○	廃棄物の削減	○	○	水使用量の削減	○	○	印刷用紙使用量の削減	○	○	化学物質の適正管理	○	○	グリーン購入の推進	○	○	環境教育の推進	○	○	大学周辺の環境美化	○	○		変更の必要性： <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
目標項目	目標値		環境活動の																																				
	達成状況	取り組み状況																																					
電力使用量の削減	○	○																																					
二酸化炭素排出量の削減	○	○																																					
化石燃料の削減	○	○																																					
廃棄物の削減	○	○																																					
水使用量の削減	○	○																																					
印刷用紙使用量の削減	○	○																																					
化学物質の適正管理	○	○																																					
グリーン購入の推進	○	○																																					
環境教育の推進	○	○																																					
大学周辺の環境美化	○	○																																					
<p>[周囲の変化の状況] 特に無し</p>		<p>[その他の環境経営システムの各要素]</p>	<p>[環境経営システムの各要素] ・変更の必要はない</p>																																				
			変更の必要性： 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>																																				

7. 取り組みの様子

7-1. 学内への周知

(1) KIUIエコ宣言カードの作成と配布

吉備国際大学では、学長による吉備国際大学環境方針の策定を受けて、環境方針を周知するために、KIUIエコ宣言カードを作成し、全教職員・学生に配布しています。表面には取り組みの内容が書いてあり、裏面には基本理念が書かれています。このカードは、名刺大の大きさで、常に携帯できるようになっています。



吉備国際大学のKIUIエコカード(名刺サイズ)。表面と裏面

(2) EA21活動啓蒙ポスター

エコアクション21活動を行うに当たり、学内各所に啓蒙ポスターを掲示しました。作成、掲示したポスターは「吉備国際大学環境方針」、「室内温度設定の遵守」、「節水」、「紙の節約」、「ゴミ減量」、「節電」、「エレベーター利用の削減」などです。



7-2. ごみ箱の整理と分別ごみ箱の設置

吉備国際大学では、高梁市のごみ分別に合わせて、ごみを6種類に分別しています。ただし、カン、ビン、ペットボトルは同じごみ箱に投入し、収集後に分別してリサイクルに回しています。そのほか、古新聞・古雑誌などの古紙類及び乾電池やインクカートリッジも別途収集してリサイクルしています。下記のような分別表がキャンパス各所のゴミ箱の上に貼ってあります。

分別種類	ごみの種類	注意事項	
廃棄物	可燃ごみ	紙くす類、食品ごみ、布類、木くす類、ビデオテープ、CD、汚れたプラスチック	★不燃ごみを投入しないこと ★きれいなおプラスチックを投入しないこと
	不燃ごみ	金属類、割れたビン、陶磁器、ライター、刃物、汚れた缶、汚れたビン	★割れたビン、刃物等は収集時に危険が及ぶよう袋に入れて内物を記載すること
資源物	カン・ビン ペットボトル	アルミ缶、スチール缶、スプレー缶(必ず穴をあける)、菓子缶、缶詰缶、コーヒー缶、飲料ビン、調味料のビン、コーヒービン、ペットボトル	★カン、ビン、ペットボトルは収集後に分別します ★ペットボトルのフタはプラスチック類へ
	プラスチック類	きれいなおプラスチック類のみ、レジ袋、ポリ袋類、菓子袋、トレイ、発泡スチロール容器、ペットボトルのフタ	★カップ類の容器など、汚れたプラスチックは可燃ごみへ
その他	古新聞・古雑誌 段ボール	古新聞、古雑誌、段ボール、その他不要な紙ひもで十文字にしほり、指定の集積場所へ	★できる限りシュレッダーにかけないようしてリサイクルに回すこと
	乾電池・蛍光管 インクカートリッジ	乾電池 → 事務室設置の乾電池入れへ インクカートリッジ → 事務室設置の回収ボックスへ 蛍光管 → 指定の収集場所へ	★不燃ごみに投入しないようにすること

★ごみになるものを買わない、大学に持ち込まないを徹底しましょう。
★ごみは必ず分別して、ごみ箱に投入して下さい。エコアクション21実行委員会

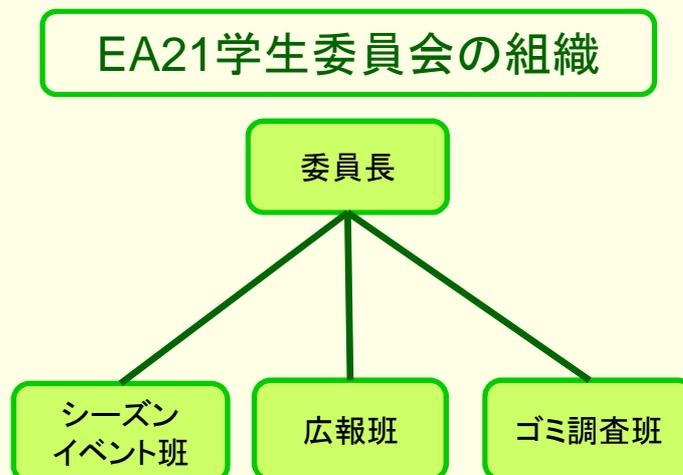


7-3. EA21学生委員会の取り組み

吉備国際大学には、エコアクション21学生委員会が設置されており、学生委員会のメンバーを中心として、学生もエコアクション活動に自主的に取り組んでいます。学生が行っている主な活動は、「エコアクション活動のポスター作成」、「緑のカーテン活動」、「ごみ調査」、「環境ボランティア活動への参加」、「環境新聞の発行」、「環境美化活動」、「リサイクル推進活動」、「館内放送」、「キャンドルナイト」、「エコうちわの配布」などです。

(1) EA21学生委員会の組織

EA21学生委員会は、EA21学生委員長の下、3つの班に分かれており、それぞれが重要な役割を担っています。また、全体で、今後の取り組みや役割分担などを話し合うために、月に一度、定例会を開催しています。





定例会の様子です。3年生の委員長の言葉を一言も聞き逃すまいと、1、2年生が真剣に聞いています。



集合写真。

(2)ごみ調査

月に1度、大学の教室を回り、教室に残されたごみを収集し、計量・記録します。



(3)リサイクル推進活動

定期的に、学内各所に設置されている容器から使用済み電池及びインクカートリッジを回収し、計量・記録した後、業者に引き渡します。



(4)館内放送

週に一度、館内放送でエコアクション活動への協力を呼びかけています。留学生向けに中国語・韓国語での放送も行っています。



(5) キャンドルナイトの実施

食堂から出た廃油で作成した手製ろうそくを灯し、照明を落としてひと時を過ごす、キャンドルナイトを7月と12月と2回実施しました。7月は、高梁城南高校、高梁高校、高梁日新高校との共同開催で、地元の方も多く見に来られます。



大学下を流れる涼しげな紺屋川にキャンドルを設置します。



暗くなると、川沿いに幻想的な風景が浮かび上がりました。



12月は、学内で開催しました。階段や広場にキャンドルを綺麗に並べます。



軽音部のアコースティックライブもあり、多くの学生、教職員が足をとめて見物していました。

7-4. 女子サッカー部による地域清掃

吉備女子大学女子サッカー部は、月に1度、大学周辺の美化活動に取り組んでいます。



国道沿いの歩道のゴミを丹念に拾います。



本学の女子サッカー部は強豪チームですが、競技のみだけではなく、地域貢献も積極的に行っています。

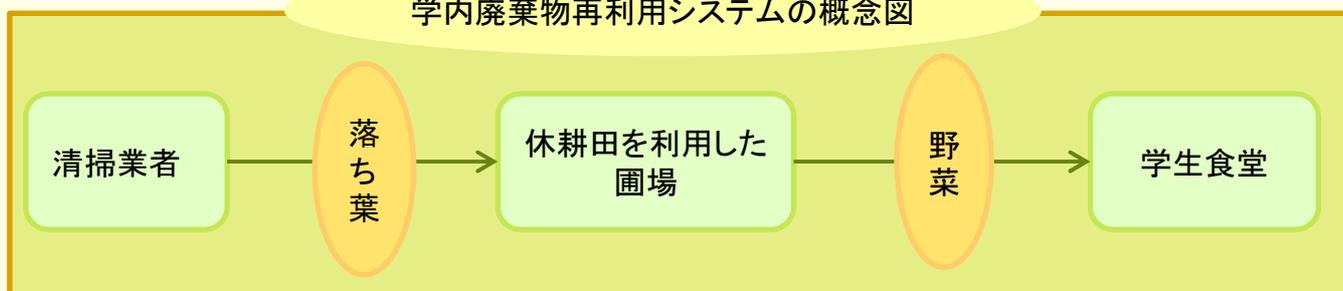
7-5. 廃棄物削減への取り組み

国際環境経営学部食農経営コースの授業では(「食農フィールド実習 I」)、大学近くの休耕田を圃場として、有機野菜を栽培しています。冬季には、授業の一環として、冬季に学内で大量に排出される「落ち葉」を圃場に散布し、土壌を醸成するとともに、廃棄物の削減にも貢献しています。落ち葉は、学生も回収しますが、学内の清掃業者にも協力を依頼し、清掃時に回収した落ち葉を取り置いてもらっています。



この落ち葉を肥料に栽培された野菜は学内の食堂にて学生や教職員に提供されます。「廃棄物の削減」は、当然ながら、人間の社会・経済活動を制限してしまう可能性があります。従って、単に廃棄物を削減するのではなく(声高に環境負荷軽減を叫ぶばかりではなく)、廃棄物に価値を見出し、廃棄物を有効利用するような、「廃棄物再利用システム」を構築することが重要です。

学内廃棄物再利用システムの概念図



7-6. その他の活動

吉備国際大学では、学内ウェブシステムを構築し、メールやウェブ上の掲示板を利用して情報を共有しています。これにより、用紙の使用量が削減できると共に、各種連絡がタイムリーに提供されています。エコアクション21関係では、文部科学省等外部からの環境配慮活動についての依頼を掲示板に掲載したり、省エネルギー推進の依頼、ゴミの分別や減量の依頼などもメールや掲示板を通じて行っています。

8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

本学に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、関係機関からの指導、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

「法規等の遵守状況の確認及び評価の結果」

区分	法規制等の名称	判定
廃棄物	廃棄物処理法	合
	家電リサイクル法	合
	自動車リサイクル法	合
	資源有用利用促進法 (PCリサイクル法)	合
	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	合
排水	下水道法	評価対象外
化学物質	化学物質排出把握管理促進 (PRTR) 法	評価対象外
	毒物及び劇物取締法	合
	フロン回収・破壊法	合
衛生関係	建築物における衛生的環境の確保に関する法律	評価対象外
グリーン購入	国等による環境物品等の調達に関する法律	合

9. 環境関連教育の状況

吉備国際大学では、大学の環境方針に沿い、環境に配慮して行動できる人材の育成を目指しています。2009年度からは全学共通基礎科目として、「生命と環境」及び「人と環境」が開講されており、全学的に環境理解教育が実施されています。また、2012年度の全学部の講義のうち、87科目の講義が、環境問題をその一部で取り上げており、「環境関連講義まとめ」を参照）、学生の環境意識の啓発に努めています。なお、附属図書館には3,008冊の環境関連図書が配架されています。

環境関連講義まとめ			
学部名	講義数	受講人数	環境問題を講義の一部で取り上げた科目名の一例
社会学部	11	847	「人と環境」、「産業社会学」、「経営社会学」
保健医療福祉部	34	1322	「医療系の生命と環境」、「産業衛生管理論」、「里山総合演習」
心理学部	6	153	「教職総合演習」、「臨床医学概論Ⅰ」
国際環境経営学部	26	598	「環境経営概論」、「環境教育論」、「循環型社会論」、「環境会計学」
文化財学部	10	155	「東洋美術修復学Ⅲ」、「文化財保存環境科学Ⅰ」
計	87	3,075	

★ 社会福祉学部子ども福祉学科、心理学部子ども発達教育学科 『里山総合演習』の紹介

1、2年次(必修)3、4年次(選択)の通年科目「里山総合演習」をカリキュラムに取り入れて、里山というフィールドでの様々な体験学習を行っています。自然観察、里山整備、野菜およびきのこの栽培、炭焼き、薪作りなど、活動から環境を通じた地域の暮らしを知り、未来の社会のあり方を考えるプログラムです。



付表.「里山総合演習」の実施記録

春学期					秋学期				
		1年次	2年次	3年次			1年次	2年次	3年次
		内容					内容		
1	4/10	オリエンテーション (ポートフォリオについて作り方)	オリエンテーション 幼稚園交流下見 (ハザードマップ作成)	オリエンテーション 幼稚園交流下見 (ハザードマップ作成)	1	9/25	オリエンテーション 夏野菜かたづけ、草取り	オリエンテーション [畑作業3]いもほり準備(草取り)	オリエンテーション [フィールド整備] 第1子ども広場の整備
2	4/17	[山作業1] 椎茸種駒打ち、薪割り	[幼稚園児との交流1] 山歩き	[幼稚園児との交流1] 山歩き、里山における野外保育の実践	2	10/2	[フィールド整備] 第2子ども広場の草取り(予定変更 2年生と合同)	[フィールド整備] 第2子ども広場の草取り(1年生と合同)	[フィールド整備] 第2子ども広場の整備 スタードーム解体
3	4/24	[自然観察・環境調査1] 自然観察とオリジナルマップづくり	[畑作業1] いちご草取り、チューリップの観察	[畑作業1] 夏野菜の畑づくり	3	10/9	[幼稚園児との交流3] 1・2限 いもほり	[幼稚園児との交流5] 1・2限 いもほり	[幼稚園児との交流4] 1・2限 いもほり
4	5/8	[畑作業1] トマト・キュウリ定植	[野外あそび1] フィールドアスレチック 遊び場づくり	[畑作業2] すいか、かぼちゃの定植	4	10/16	[野外あそび3] 泥団子づくり	[畑作業4] いちご苗植え	[畑作業4] 畑の整備
5	5/15	雨天のため、キャンプ学習は順延。 ビデオ鑑賞「森の幼稚園(世界ウルルン滞在記)」	雨天のため、キャンプ学習は順延。 ビデオ鑑賞「森の幼稚園(春夏秋冬編)」	[子育て支援と野外遊び1] ※教室で講義 次回のいちご狩りについて。担当など。	5	10/23	[野外あそび4] ※雨のため教室で行う 自然素材で音を出してみよう	雨のため「プレーパーク」のスライド(予定変更 3年生と合同)	雨のため「プレーパーク」のスライド(予定変更 2年生と合同)
6	5/22	[畑作業2] 野菜成育観察、草取り、トマト・キュウリの支柱立て	[幼稚園児との交流2] いちご狩り	[幼稚園児との交流2] いちご狩り	6	10/30	[畑作業6] いちご苗の定植	お話作りと読みかせ	[畑作業5] れんげ種まき
7	5/29	[野外あそび1] キャンプ学習(テント張り) 高梁美しい森キャンプ場	[野外あそび2] キャンプ学習(ロープワーク) 高梁美しい森キャンプ場	[子育て支援と野外遊び2] ※教室で講義 いちご狩りのふりかえり。	7	11/6	前半のふりかえり ポートフォリオ中間発表	ポートフォリオ発表会	[畑作業5] 里芋掘り
8	6/5	[畑作業3] 野菜成育観察、草取り、トマト・キュウリの世話	[畑作業2] さつまいも畝立て、チューリップ球根掘りあげ	[子育て支援と野外遊び3] ※教室で講義 さつまいも苗植えの準備。	8	11/13	アイマスク、車いす体験。	子どもフェスティバルの準備	子どもフェスティバル準備。スタードーム組み上げ。
9	6/12	雨天のため、[幼稚園児との交流1] さつまいも苗植えは順延。ビデオ鑑賞「森の幼稚園(春夏秋冬編)」	雨天のため、[幼稚園児との交流3] さつまいも苗植えは順延。高梁幼稚園で交流	雨天のため、[幼稚園児との交流3] さつまいも苗植えは順延。高梁幼稚園で交流	9	11/20	[野外あそび5] 1・2限 芋煮会と子どもフェスティバル2013の準備	[野外あそび3] 1・2限 芋煮会と子どもフェスティバル2013の準備	[野外あそび2] 1・2限 芋煮会と子どもフェスティバル2013の準備
10	6/19	雨天のため、[幼稚園児との交流1] さつまいも苗植えは中止。1～3年合同で、DVD「里山Ⅱ(NHKスペシャル)」の鑑賞。	雨天のため、[幼稚園児との交流3] さつまいも苗植えは中止。1～3年合同で、DVD「里山Ⅱ(NHKスペシャル)」	雨天のため、[幼稚園児との交流3] さつまいも苗植えは中止。1～3年合同で、DVD「里山Ⅱ(NHKスペシャル)」	10	11/27	[山作業2] 1・2限 炭焼き(竹)・縄ない	[山作業1] 1・2限 炭焼き(竹)・縄ない、やきいも・山遊びの準備	[冒険遊び場をつくる1] 1・2限 竹はしごづくり。竹の切り出し。上下の足場をとりつけるところまで。
11	6/26	[フィールド整備] 第2子ども広場整備(草取り)	[フィールド整備] 子ども広場整備(草刈り)	[フィールド整備] 子ども広場 杉丸太を坂の中間地点まで3本揚げる。	11	12/4	[山作業3] 竹炭の取り出し・しめ飾りづくり、やきいも・山あそびの準備	[山作業2] 竹炭の取り出し、高梁幼稚園との交流準備、しめ飾りづくり体験	[冒険遊び場をつくる2] 竹はしごづくり。足場用の垂木を寸法に切りそろえる。
12	7/3	[野外あそび2] リスニングウオーク 水辺の音を聞く 地図の作成	雨天のため、DVD「中国・雲南 竹とともに生きる」の鑑賞。	雨天のため教室で話し合い。演習Ⅴについて感想、これからの希望。自分にとっての成果など。	12	12/11	[幼稚園児との交流4] 1・2限 やきいもと山あそび	[幼稚園児との交流6] 1・2限 やきいもと山あそび	[幼稚園児との交流5] 1・2限 やきいもと山あそび
13	7/10	[畑作業4] じゃがいもの収穫と草取り	[自然観察・環境調査1] 人里の植物や昆虫の観察、調査	[フィールド整備] 子ども広場 中間地点まで揚げていた丸太3本を広場まで運ぶ。	13	12/18	[フィールド整備] 第1子ども広場の環境整備	[野外あそび4] ネイチャーゲーム フィールドアスレチック	[山作業1] 椎茸のほだ木と薪づくり
14	7/17	[幼稚園児との交流2] さつまいも畑草取り ※園の都合で10日が順延となった。	[幼稚園児との交流4] さつまいも畑草取り ※園の都合で10日が順延となった。	[畑作業3] すいか、かぼちゃ畑の草取り	14	1/15	[野外あそび5] フィールドアスレチック 昔ながらの遊びを目一杯楽しむ	[野外あそび5] フィールドアスレチックの遊び場づくりと遊び方	[山作業2] 椎茸のほだ木と薪づくり(2回目)
15	7/24	まとめ、合同ポートフォリオ発表会	まとめ、合同ポートフォリオ発表会	まとめ、ポートフォリオ発表会	15	1/22	まとめ、1、2年合同ポートフォリオ発表会	まとめ、1、2年合同ポートフォリオ発表会	まとめ、ポートフォリオ発表会

10. 内部環境監査の実施

EA21ガイドラインでは、事業規模100人以上の事業体に対し、内部環境監査の実施が要求事項として明記されています。これに従い、吉備国際大学では、2011年12月に内部環境監査を行いました。内部環境監査員としてのスキルを身に付けるため、事前に内部環境監査員養成講座を受講した学生が内部環境監査員となり、全学部長及び事務局長に対し、EA21の取り組み状況をチェックしました。



監査員となった学生は、学部長や事務局長を前に緊張しながらも、しっかりと監視項目をチェックしています。

11. 中間審査の受け入れ

2012年3月にEA21の中間審査を受けました。EA21中央事務局から二人の審査人をお迎えし、この一年間の取り組みや環境経営システム構築の成果をチェックして頂きました。



2013年5月30日
吉備国際大学
〒716-8508 岡山県高梁市伊賀町8
代表電話:0866-22-9454

作成:平成25年度吉備国際大学 環境マネジメント委員会
作成責任者:濱島敦博(国際環境経営学部 講師)
E-mail:hamashi@kiui.ac.jp Tel:0866-22-9205